

使用前の点検

使用前に必ず以下の点検を行なってください。

点検の結果、作動不良や違和感を感じたときは、すぐに使用を止め、お買上げの販売店または、最寄りの弊社支店、営業所へご連絡ください。

● 後車輪タイヤの空気圧の確認

△注意 後車輪タイヤの空気圧が少ないと、ブレーキがかからない場合や、かかりが悪くなる場合がありますので、空気圧には十分注意してください。

適正空気圧 14インチ：2.5Kgf/cm²
16インチ：3.0Kgf/cm²

● 駐車ブレーキの作動確認

ブレーキレバーを操作し、ブレーキがかかることを確認してください。

● バックレストが固定されていることの確認

両側の背折れジョイントのロックをチェックし、バックレストが固定されていることを確認してください。

● 各調整部分が固定されていることの確認

各調整部分をチェックし、確実に固定されていることを確認してください。

● 消耗品、交換部品の確認

△注意 交換時期を過ぎての使用は、転落、転倒、衝突などの事故につながる恐れがあります。

それぞれの部品が交換時期になったときは、お早めに交換してください。
新しい部品に交換する際は、お買上げの販売店へご連絡ください。

消耗品・交換部品

品名	交換時期
後車輪タイヤ	タイヤの表面に溝がなくなったとき。
キャスター車輪	表面の摩耗が著しいとき。しっかりロックしても車輪ががたつくとき。
シート	ほつれ、切れ目が発生したとき。ひどく汚れたとき。

また、車いすのフレームの耐用年数は5年を基本として製作されています。5年経過後使用される場合は、必ずお買上げの販売店または、最寄りの弊社支店、営業所へご相談ください。

お手入れ・保管について

● フレームのお手入れ

- ・ フレームの汚れは、タオルかスポンジに中性洗剤を含ませて拭き取ってください。拭き取った後は、乾いた布で水分を取り除いてください。
- ・ 水などがかった場合は、乾いた布で水分を取り除いてください。
- ・ 錆やタイヤのパンクを避けるため、湿気の高い場所や室温の上がる場所には保管しないでください。

● シート、アームレストフレーム、押し手等の樹脂部品の

お手入れ
樹脂部品の汚れは中性洗剤で落としてください。

△注意 シンナー、ベンジン等の溶剤は使用しないでください。製品を傷める恐れがあります。

● 保管・収納について

- ・ 収納スペースが少ないときは、座シート、バックレストを折りたたんで保管してください。
- ・ 錆やタイヤのパンクを避けるため、湿気の高い場所や室温の上がる場所には保管しないでください。

仕様

シルバーパッケージ[M-GFsp]の仕様

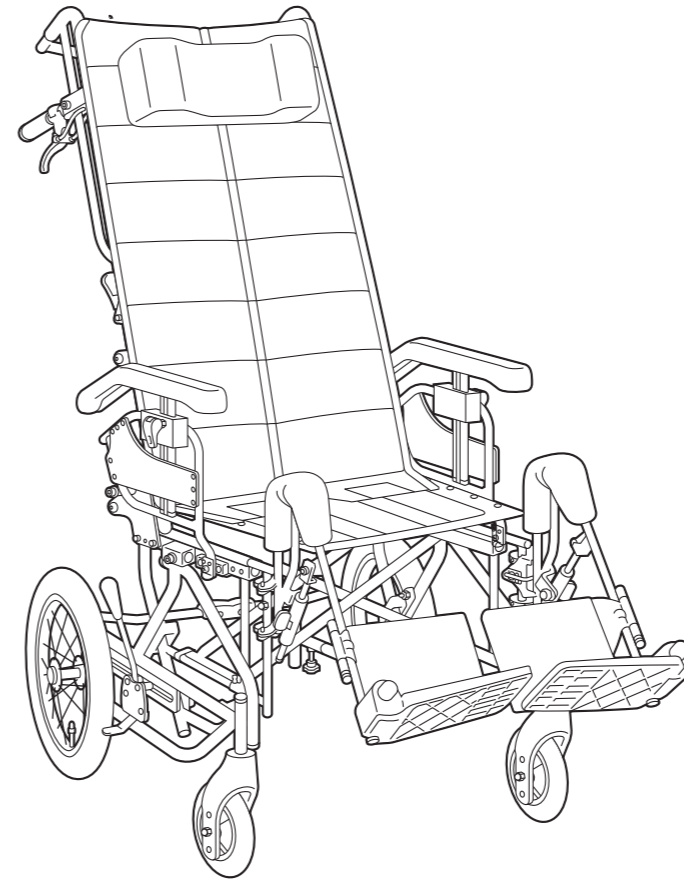
(単位：mm)

形式		M-GFsp
材質	フレーム	アルミパイプ (A7003) : アルマイト処理
寸法	全幅	710
	全長	1085・1125・1165
	全高	1290・1315・1340
	座面幅	420
	前座高	450・475・500
	後座高	450・475・500
	アームレスト高	220・240・260・280・300
	後車輪	14インチ
	キャスター車輪	6インチ ソフトフォーミング
重量	26kg	

グランドフリッチャー・EX [型式：M-GF]

グランドフリッチャー・シルバーパッケージ [型式：M-GFsp]

取扱説明書



目次

安全上のご注意	2
本製品について	4
各部のなまえ	4
おもな機能と特長 (シルバーパッケージ仕様)	5
使いかた	5
車いすの開きかた	5
乗り降りのしかた	6
段の上がりかた	6
走行上のご注意	7
各機能の使いかた	7
車いすのたたみかた	10
各部の調節のしかた	11
座面の高さおよび前後車輪間の距離調節	11
フットレストの前後位置調節	12
アームレストパッドの高さ調節	13
ステップの高さ調節 (多機能型・標準型フットレスト)	13
ステップの高さおよび角度調節 (直下型フットレスト)	14
バックレスト(背もたれ)の角度変更 (固定プレート)	14
バックレスト(背もたれ)の前後位置調節	14
バックレスト(背もたれ)の張り具合調節	15
押し手グリップの高さ調節	15
使用前の点検	16
お手入れ・保管について	16
仕様	16

はじめに




この度は、弊社製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。

ご使用前に本書を必ずお読みになり、十分に理解をした上でお使いください。また、本書はいつでもご覧になれる所に大切に保管しておいてください。






ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この取扱説明書では、お使いになる人や他の人への危害・物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次の表示と記号を使って説明しています。表示と記号の意味をよく理解したうえで本文をお読みください。


【表示の意味】

	危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが予想される内容を示しています。
	警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、重傷を負う可能性が予想される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性および物的障害の発生が想定される内容を示しています。


【記号の意味】


	警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
	禁止の行為であることを告げるものです。
	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

危険


 **スピードを出さないでください。**
スピードが出ているときに急カーブを走行したり、急ブレーキをかけたりすると、転倒して事故やけがにつながる恐れがあります。





 **急な下り坂で介助するときは、後ろ向きにゆっくり降りてください。また、介助用ブレーキを使用してスピードを落としてください。**


 **後車輪とキャスター車輪は同じ座高に対応する位置に、取り付けてください。後車輪とキャスター車輪の取り付け高さを誤ると、腰掛けた場合に転倒して、事故やけがにつながる恐れがあります。**

警告

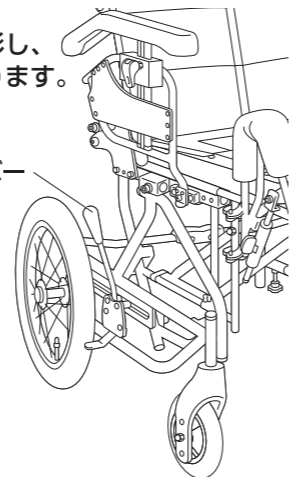
 **乗り降りの際にはステップに乗らないでください。**
後車輪が浮き上がり、転倒する恐れがあります。

 **乗り降りの際および停止時には、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けてください。**
ブレーキがかかっていないと車いすが動きだし、衝突や使用者の転倒事故につながる恐れがあります。ブレーキレバーは、ブレーキレバーが止まる位置まで確実に操作してください。


 **使用する前に、両側の背折れジョイントが確実にロックされていることを確認してください。**
ロックされていないと、使用者が後方に転倒する恐れがあります。


 **乗り降りの際にはブレーキレバーに体重をかけないでください。**
レバーが破損・変形し、転倒する恐れがあります。


駐車ブレーキのレバー





警告


 **使用者を乗せたまま車いすを持ち上げないでください。**


 **アームレストフレームやフットレストを持って車いすを持ち上げないでください。**
アームレストやフットレストのロックが外れ、けがをする恐れがあります。


 **車いすを駐車するときは、水平で平坦な場所に駐車してください。**
坂道等の傾斜のある場所では、駐車ブレーキを使用しても車いすが動く場合があり、転倒など事故につながる恐れがあります。


 **各部を調整する場合は平坦な場所で行なってください。**
車いすが動きだし、事故やけがにつながる恐れがあります。


 **ティルト、リクライニングの両機能がある場合は、頭部が座面よりも低くならない範囲で角度調節をしてください。**
使用者が後方に転倒したり、すり落ちたりする恐れがあります。

 **ウイングアームレストを跳ね上げた状態で走行しないでください。**
使用者が車いすから落ちて、事故やけがにつながる恐れがあります。

 **ウイングアームレストを戻した後は、必ずロックされたことを確認してください。**
使用中に外れると、事故やけがにつながる恐れがあります。

 **フットレストを開いた状態で走行しないでください。**
事故やけがにつながる恐れがあります。


 **フットレストを閉じた後は、必ずフックで固定されたことを確認してください。**
事故やけがにつながる恐れがあります。


 **乗り降りの際に、上げたステップに足が当たらないよう注意してください。**
けがをする恐れがあります。


 **座高および前後車輪間の距離調節は、販売店へご依頼ください。**

注意


 **この車いすは一人用です。二人以上の乗車や、目的以外での使用はしないでください。**


 **フレームに最大体重（積載物も含む）が記載されている場合は、体重制限を守って使用してください。**


 **車いすをたたむときは、シートパイプを握らないでください。**
手をはさみ危険です。


 **使用者が乗車中は、背折れの操作は絶対に行わないでください。**
背折れのヒンジ部分で手や腕をはさむ恐れがあります。


 **走行中、足がフットレストから落ちないようにしてください。**

 **走行中、身体を乗り出さないでください。**
走行の安全を損ない危険です。


 **操作中に異常な音や振動が発生したら、即時に使用を中止してください。**
事故やけがにつながる恐れがあります。


 **折りたたんだ車いすを開く時に、シートパイプを握って押し下げないでください。**
手をはさみ危険です。

 **使用する前に後車輪・キャスター車輪・駐車ブレーキ等のネジを点検し、ゆるんでいるときは増し締めをしてください。**

 **高さ調整式押し手グリップは、クイックリリースのナットで固さを調整し、しっかり固定された状態で使用してください。**

 **アームレストパッドの高さを調整した後は、必ずロックされたことを確認してください。**

 **ステップは地上より50mm以上あげた状態で使用してください。**

 **暖房器具にタイヤを近づけないでください。**
タイヤの空気が膨張し、大きな音をたててパンクすることがあります。

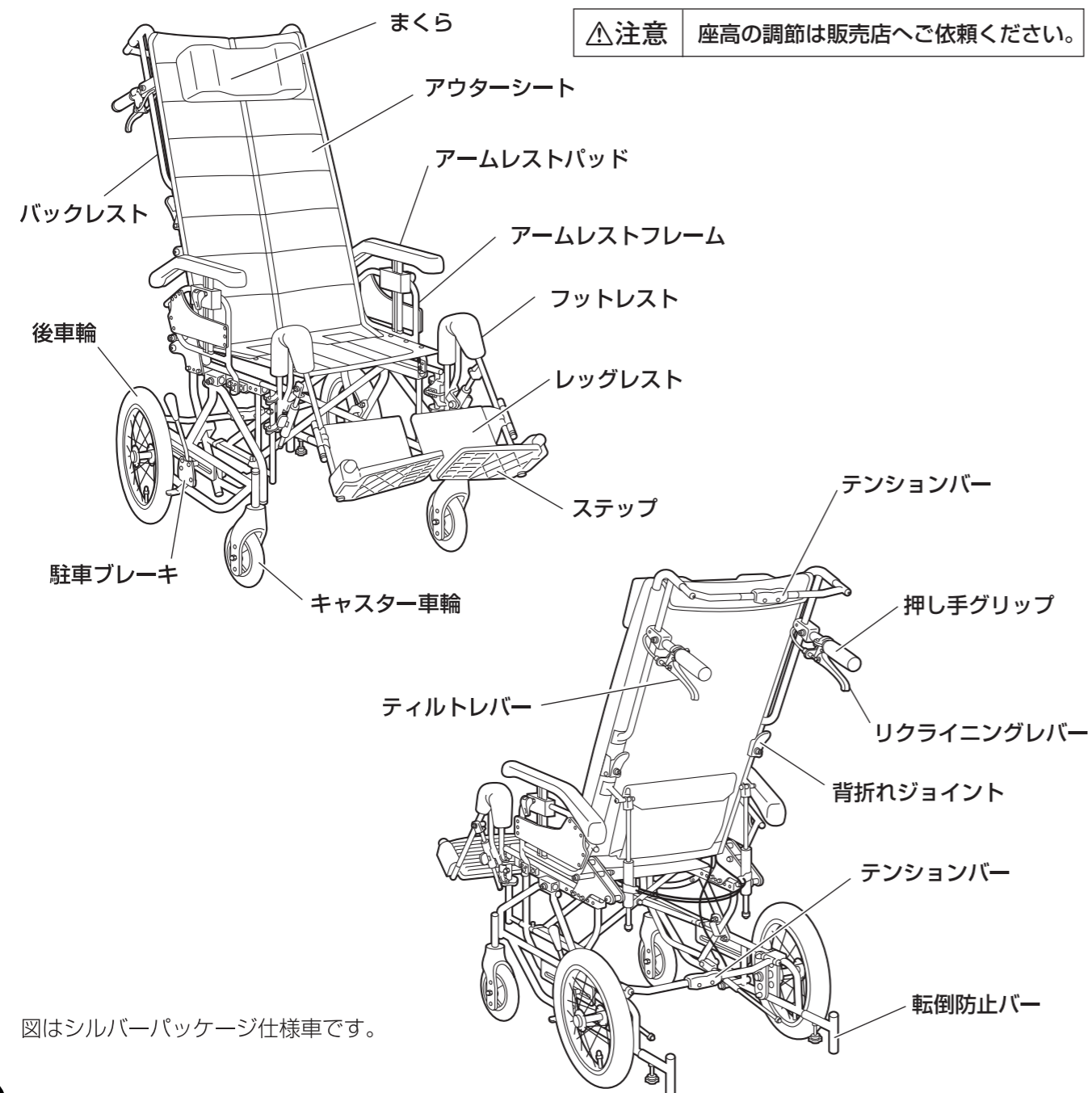
 **シンナー、ベンジン等の溶剤は、使用しないでください。**
製品を傷める恐れがあります。

本製品について

本製品には、グランドフリッチャー・EX (M-GF) とグランドフリッチャー・シルバーパッケージ (M-GFsp) の2つの仕様があります。グランドフリッチャー・EX (M-GF) には標準機能の他に、必要に応じてお選びいただけるオプション機能があります。またシルバーパッケージ (M-GFsp) は、標準機能に加え、メーカー選定のオプション機能をはじめから装備しています。機種ごとに装備内容が異なりますのでご注意ください。本取扱説明書では、記載項目に以下のマークを付けています。マークを目印に、ご自分の車いすに関する項目をお読みください。なお、マークのない項目は全車共通の内容です。

マーク	マークが示す意味
EX	グランドフリッチャー・EX (M-GF) 用オプション機能です。
SP	グランドフリッチャー・シルバーパッケージ (M-GFsp) に標準装備のオプション機能です。

各部のなまえ



図はシルバーパッケージ仕様車です。

おもな機能と特長(シルバーパッケージ仕様)

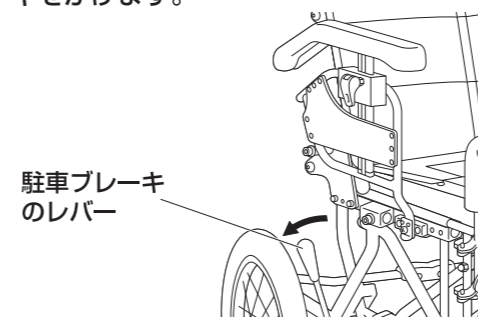
- **ティルト機能**
背と座面との角度を変えずに、座面角度をお好みに合わせて変えることができます。シート面にかかる体圧を分散させることで疲れにくくなり、長時間同じ姿勢を保つことが可能になります。
- **ウイング機能**
アームレストフレームをワンタッチで後方へ跳ね上げることができます。ベッドと車いすの間の移乗などがスムーズに行なえます。
- **シーティング機能**
バックレストシートの張り具合を、体型に合わせて調整することができます。
- **モジュール機能**
座面の奥行き、座面の高さ、アームレストの高さをお好みに合わせて調整することができます。
- 上記の機能に加え、以下のオプション機能が標準装備されています。
ダブルリクライニング、スイングアウト+エレベーター、まくら、フォーミングキャスター

使いかた

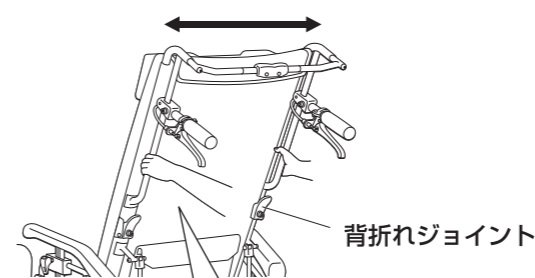
車いすの開きかた

注意 シートパイプを握って押し下げないでください。手をはさんでけがをする恐れがあります。

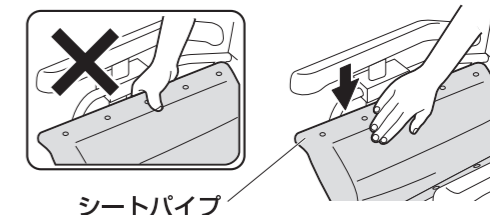
- 1 駐車ブレーキのレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。



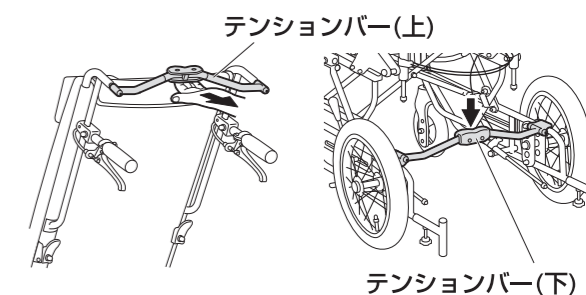
- 2 バックレストパイプを持って、軽く左右に開きます。
* バックレストを後ろ側に折りたたんでいる場合は元に戻し、背折れジョイントがロックされたことを確認します。



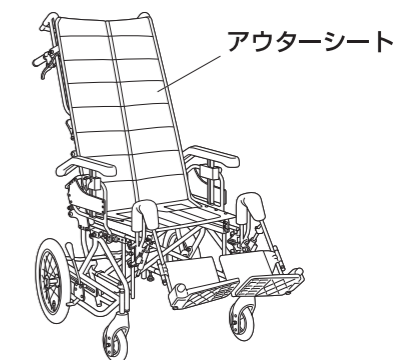
- 3 シートパイプを手の平で押し下げます。
* シートパイプを握らないでください。
* 片側の車輪を少し浮かせた状態で開くと、スムーズに開きます。



- 4 テンションバー(上)の中央を手前に引き、回転させてロックします。さらにテンションバー(下)の中央を持ち、ロックするまで押し下げます。



- 5 アウターシートを外している場合は、アウターシートをセットします。



乗り降りのしかた

⚠警告 乗り降り時は、必ず駐車ブレーキをかけてください。車いすが動きだし大変危険です。

● 乗るかた

- 1 駐車ブレーキのレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 座面を水平にします。
(7ページ「座面の角度を変える」参照)
- 3 乗り移る側のフットレストを外側に開きます。
(9ページ「フットレストの回転・取り外し」参照)
- 4 乗り移る側のアームレストを後方へ跳ね上げます。
*アームレストフレームの先端がバックレスト前面よりもはみ出ない位置まで跳ね上げてください。
(8ページ「アームレストを後方に跳ね上げる」参照)
- 5 車いすをしっかりと保持しながら、ゆっくり乗り移ります。
- 6 アームレストを降ろし、ウイングレバーで固定します。
- 7 フットレストを取り外している場合は、フットレストを取り付けます。
*車体フレーム側の2つのピンにフットレスト側の穴を合わせてはめ込みます。
- 8 フットレストを内側に閉じて、フックに固定します。
- 9 ステップを降ろして両足を乗せます。
- 10 座面の角度を調整します。
(7ページ「座面の角度を変える」参照)

● 降りかた

「乗るかた」と逆の要領で行ってください。

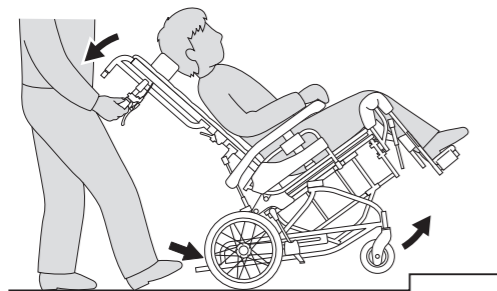
段の上がりかた

⚠警告 持つ箇所によっては破損や事故につながる恐れがあります。アームレスト、背折れジョイント、レッグパイプ、フットレストなどは持たないでください。

- 1 左右の転倒防止バーを取り外します。
(9ページ「転倒防止バーの取り付け・取り外し」参照)
- 2 足元のティッピングレバーを踏み込み、前方に押し出ししながら、押し手を手前に引くようにして、キャスター車輪を段の上にあげます。
- 3 後車輪を段に突き当て、車いすを押しながら押し手を持ち上げます。
*無理な力による段差の乗り越えは、フレームの破損につながります。
- 4 上がり終わったら、転倒防止バーを取り付けます。

車いすに乗ったまま持ち上げる場合

車いすに乗ったまま持ち上げる場合は二人以上で行ない、使用者の上半身を支え、フレーム下部を両側からしっかり持って持ち上げます。



走行上のご注意

⚠注意


- ・車いすは歩行者として扱われています。車道を通らず、必ず歩道を通ってください。
- ・歩道の段差や凹凸のある路面を走行するときは、前のめりにならないよう充分注意してください。
- ・溝や踏切の線路による落輪、キャスター車輪の挟み込みには充分注意してください。
- ・傾斜地ではスピードが出やすいため、走行には充分注意してください。

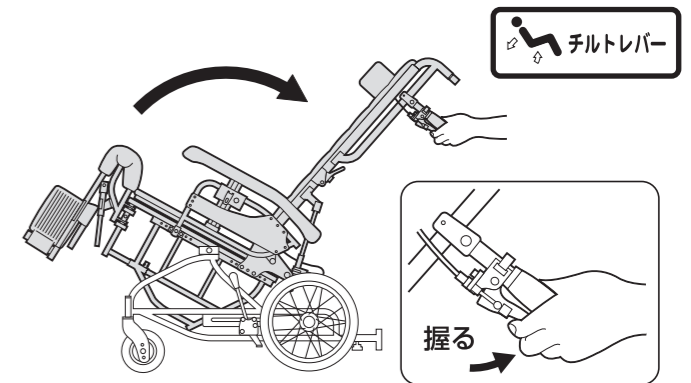
各機能の使いかた

■ 座面の角度を変える (ティルト機能) EX SP

⚠注意

操作は、必ず両輪の駐車ブレーキをかけてから行なってください。

- 1 左側押し手グリップ下のレバーを握ります。
(マークが付いた側のグリップです。) 座面の角度が40度の範囲で調整可能になります。
- 2 お好みの角度が決まったら、その位置で座面を止めたまま、レバーを離します。座面が固定されます。




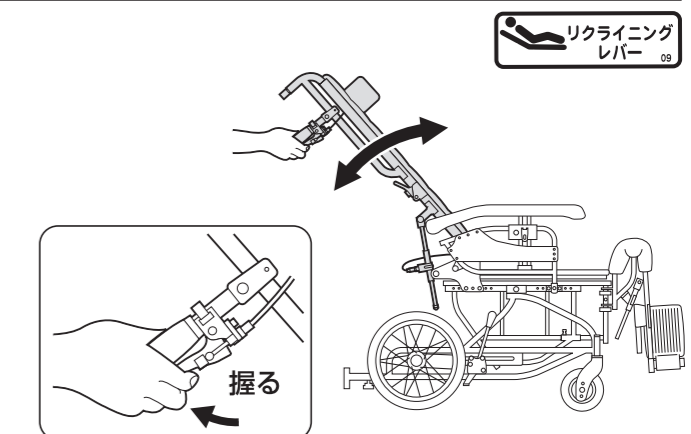
*操作はゆっくり行なってください。レバーの握りこみが不十分だとロックが解除されず、操作ができませんのでご注意ください。

■ バックレスト (背もたれ) の角度を変える (リクライニング機能) EX SP

⚠注意

操作は、必ず両輪の駐車ブレーキをかけてから行なってください。

- 1 右側押し手グリップ下のレバーを握ります。
(マークが付いた側のグリップです。) バックレストの角度が170度の範囲で調整可能になります。
- 2 お好みの角度が決まったら、その位置でバックレストを止めたまま、レバーを離します。バックレストが固定されます。



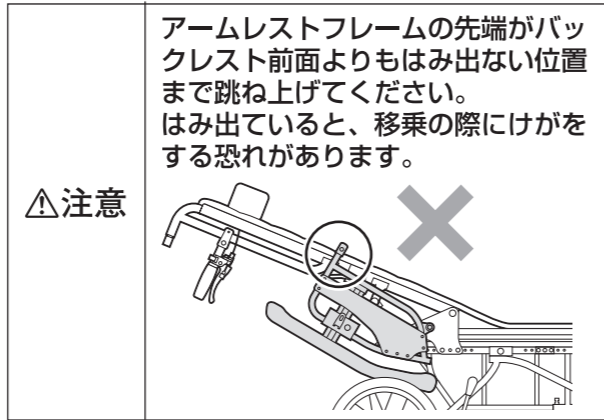
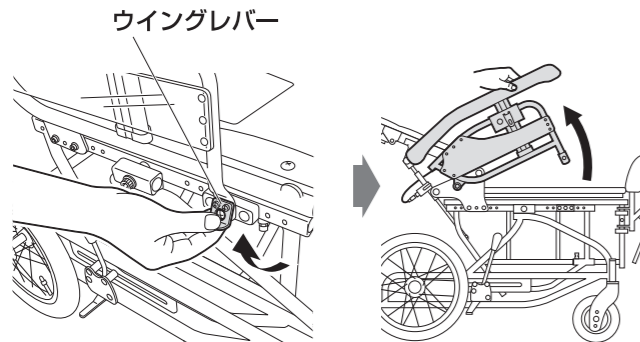
*操作は、バックレストを体で支えながらゆっくり行なってください。
*バックレストを大きく倒す場合は、座面を水平にしてお使いください。
*レバーの握りこみが不十分だとロックが解除されず、操作ができませんのでご注意ください。
*<シルバーパッケージ仕様車を除く>
バックレスト固定プレートの取付け位置を変更することでも、バックレストの角度を変えることができます。(14ページ「バックレスト(背もたれ)の角度変更(固定プレート)」参照)

■ アームレストを後方に跳ね上げる (ウイング機能) EX SP

アームレストをワンタッチで後方へ跳ね上げることができます。ベッドから車いす、または車いすからベッドへの移動がスムーズに行なえます。

△注意 操作は、必ず両輪の駐車ブレーキをかけてから行なってください。

跳ね上げかた
ウイングレバーを指先で持ち上げてロックを解除し、アームレストフレームを後方へ跳ね上げます。



△注意

- *アームレストフレームを戻したときは、ウイングレバーが確実にロックされているか確認してください。
- *アームレストを上げた状態で、アームレストフレームに力を加えないでください。フレームが変形し故障の原因となります。

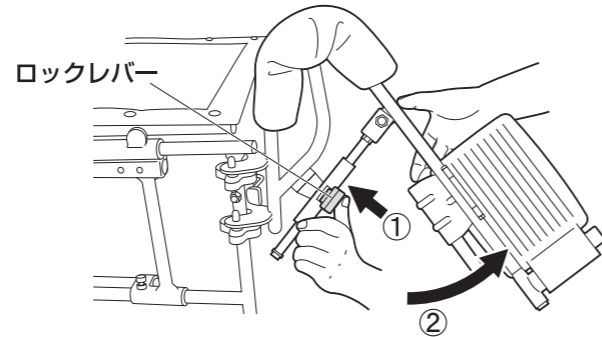
■ フットレストの上げ下げ (エレベータ機能) EX SP

フットレストの角度をお好みに合わせて変えることができます。脚を持ち上げたいときや、ひざ関節の曲がる範囲が限られている場合などに便利です。

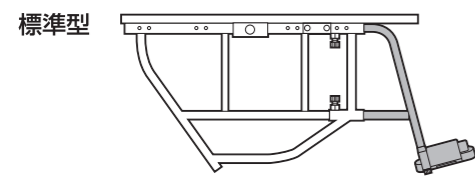
△注意 操作は、必ず両輪の駐車ブレーキをかけてから行なってください。

角度の変えかた
ロックレバーを上押し込んでロックを解除し、フットレストを引き上げて角度を調整します。ロックレバーを離すと、フットレストはロックされます。

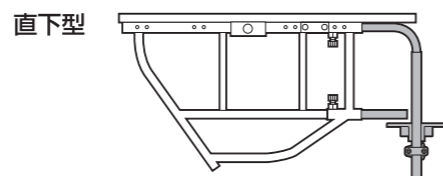
多機能型フットレスト
(スイングアウト、エレベータ機能付き)



フットレストには、上記「多機能型」に加え「標準型」と「直下型」の3タイプがあります。 EX



標準型
ステップの高さ調節が可能です。



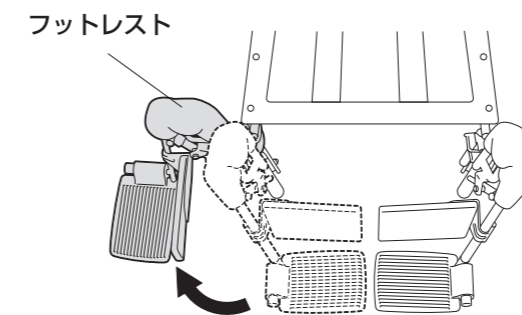
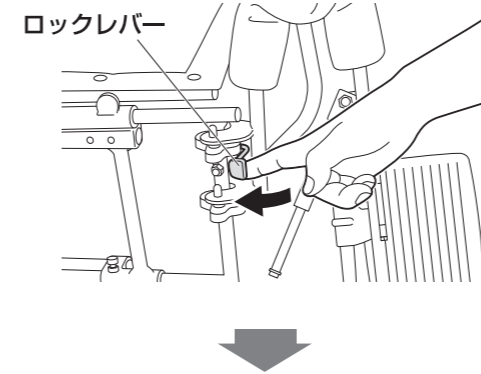
直下型
ステップの高さおよび角度調節が可能です。
(14ページ「ステップの高さおよび角度調節(直下型フットレスト)」参照)

■ フットレストの回転・取り外し (スイングアウト機能) EX SP

フットレストをワンタッチで開閉することができます。車いすへの乗り降りの際、フットレストが脚にぶつかることなくスムーズに移乗することができます。

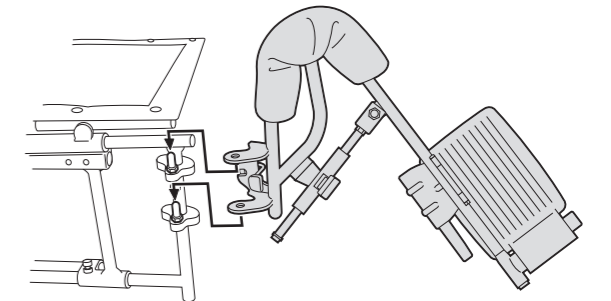
△警告 フットレストの回転・取り外し・取り付けは、必ず両輪の駐車ブレーキをかけてから行なってください。

回転のしかた
ロックレバーを矢印の方向に押し込んでロックを解除し、そのままフットレストを外側に回転させて開きます。



取り外しかた
フットレストを外側に開いた状態で、フットレストを垂直に引き上げます。

取り付けかた
車体フレーム側の2つのピンにフットレスト側の穴を合わせてはめ込みます。



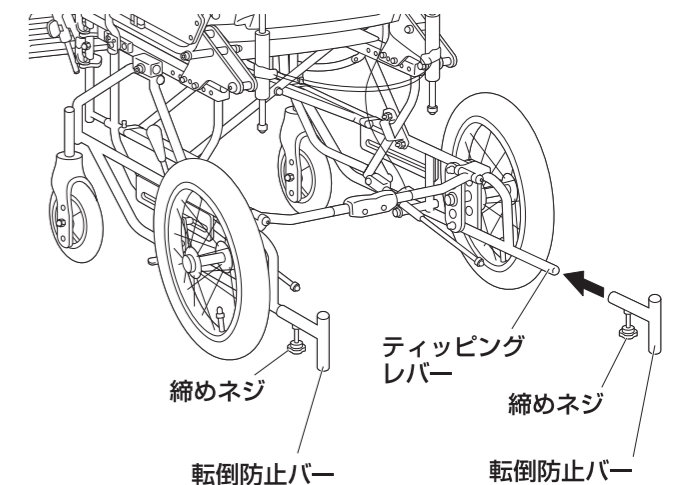
*フットレストを開いた状態で、フットレストに力を加えないでください。金具が変形し故障の原因となります。

■ 転倒防止バーの取り付け・取り外し

△注意 操作は、必ず両輪の駐車ブレーキをかけてから行なってください。

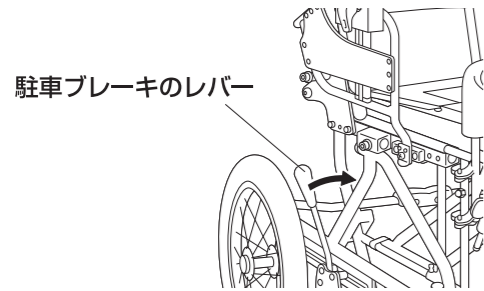
取り付けかた
転倒防止バー(2本)を、図の向きにしてティッピングレバーに差し込み、締めネジを回して固定します。

*転倒防止バーが一時的にじゃまになるときは、取り外すことができます。通常は、転倒防止バーを図のようにセットした状態でご使用ください。

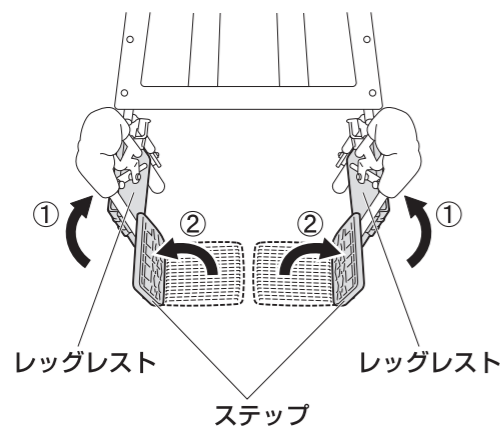


車いすのたたみかた

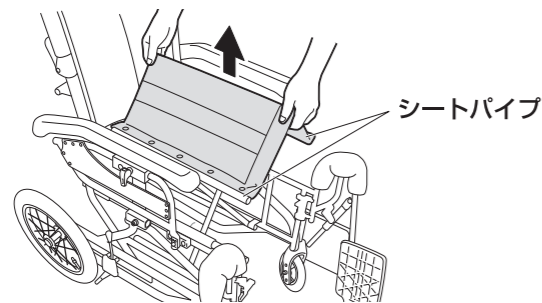
- 1** 駐車ブレーキのレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。



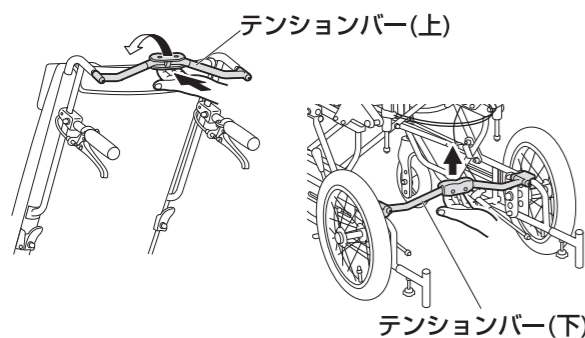
- 2** レッグレストを外側に開き、ステップを上げます。(仕様によっては異なります。)



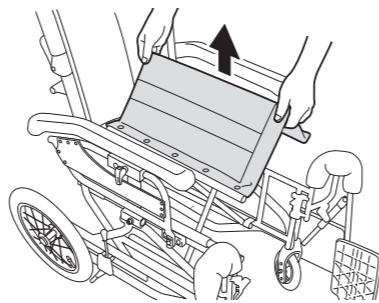
- 3** 座シートの前後を軽く持ち上げ、シートパイプを浮かせます。



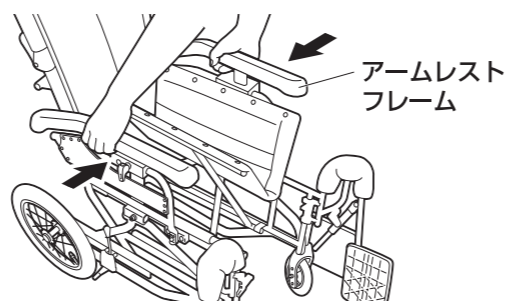
- 4** テンションバー(上)のロックを外し、前方へ90°回転させて軽く曲げておきます。さらにテンションバー(下)の中央を持ち上げ、軽く曲げておきます。



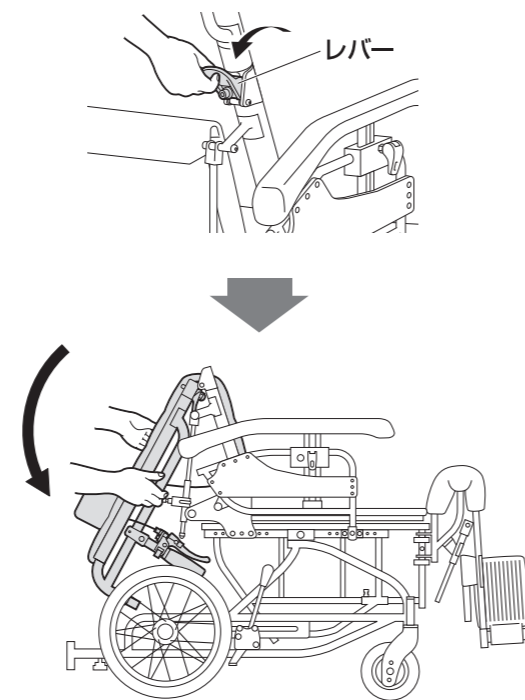
- 5** 座シートの前後を持ち上げ、シートパイプを引き寄せます。



- 6** アームレストフレームを両側から押し、座シートを折りたたみます。



- 7** **EX SP**
背折れジョイントのレバーを引いてロックを解除し、バックレストを後方に倒します。



*フットレスト、転倒防止バー、アウターシートを外すと、よりコンパクトに折りたためます。

各部の調節のしかた

警告 各部の調節は必ず駐車ブレーキをかけてから、平坦な場所で行なってください。

座面の高さおよび前後車輪間の距離調節

座面の高さは、14インチ仕様車の場合は3段階(450、475、500mm)、16インチ仕様車の場合は2段階(475、500mm)に調節できます。座面の高さ調節は、後車輪およびキャスター車輪の取り付け位置を変えることで行ないます。また後車輪の前後位置を変えることで、前後車輪間の距離を調節することができます。

- ・ 後車輪の高さを変更したら、同時にキャスター車輪や駐車ブレーキの取り付け位置変更が必要になります。
- ・ 後車輪の前後位置を変更したら、同時に駐車ブレーキの取り付け位置変更が必要になります。
- ・ 後車輪やキャスター車輪の取り付け位置は左右同じにしてください。

後車輪位置調節範囲

(数値は標準フレーム使用時のものです。)

座面高	
[16インチ]	[14インチ]
475 (低)	450 (低)
500 (中)	475 (中)
-	500 (高)

*1: 数値は前輪接地点から後輪接地点までの距離を示します。

危険

- ・ 後車輪とキャスター車輪は、同じ座面高に対応する位置に取り付けてください。
- ・ 後車輪とキャスター車輪の取り付け高さを誤ると、腰掛けた場合に転倒する恐れがあります。
- ・ 使用者を乗せたまま調節を行なうのは、絶対におやめください。
- ・ 後車輪とキャスター車輪の間を短くすると、操作はしやすくなりますが、バランスが損なわれ後方に転倒しやすくなります。使用状況を十分に考慮した上で調節してください。

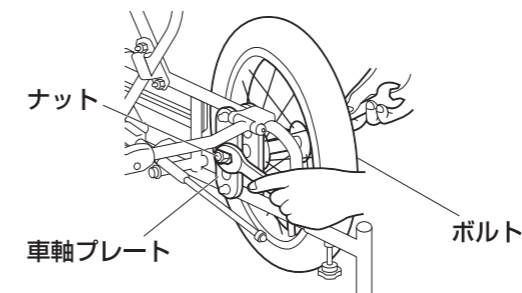
注意

座面の高さおよび前後車輪間の距離の調節は、販売店にご依頼ください。

後車輪の取付位置を変える

座面の高さを変える

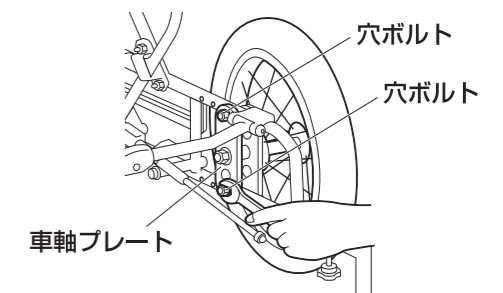
- 1 作業しない側の駐車ブレーキだけをかけます。
- 2 ボルトをレンチなどで押さえたまま、ナットをゆるめて取り外し、ボルトと後車輪を車軸プレートから取り外します。



- 3 後車輪の取り付け位置を変え、ボルトを差し込みます。
- 4 ボルトを押さえながらナットを固く締めます。
- 5 後車輪ががたつかず、部品がしっかり固定されていることを確認します。

後車輪の前後位置を変える

- 1 作業しない側の駐車ブレーキだけをかけます。
- 2 左記の要領で後車輪を取り外します。
- 3 車軸プレート上の穴ボルト(2個)をレンチなどでゆるめて外し、車軸プレートを取り外します。



- 4 車軸プレートの取り付け位置を変え、穴ボルトを差し込みます。
- 5 穴ボルトを固く締めます。
- 6 後車輪を取り付けます。
- 7 後車輪ががたつかず、部品がしっかり固定されていることを確認します。

*後車輪の取り付け位置は左右同じにし、次にキャスター車輪と駐車ブレーキの位置を調節してください。

■ 駐車ブレーキの取付位置を変える

後車輪の取り付け位置を変更するときやブレーキが効かない場合には、ブレーキ位置を調節してください。

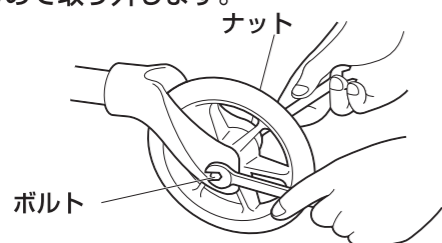
- 1 作業をしない側の駐車ブレーキだけをかけます。
- 2 駐車ブレーキの内側のナット（2本）をレンチなどでゆるめます。
- 3 タイヤに駐車ブレーキのタイヤ押えが当たる位置に調節して、ナットを締めます。
* 反対側も同様に調節してください。
* 作業前に、タイヤの空気圧を適正に調節してください。

■ キャスター車輪の取付位置を変える

後車輪の取り付け位置を変更したときは、キャスター車輪の位置も変更してください。

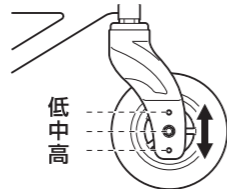
キャスター車輪を取り付ける穴の位置を以下の手順で変更してください。

- 1 駐車ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 ボルトをレンチなどで押さえたまま、ナットをゆるめて取り外します。
- 3 車軸を抜きます。
- 4 下記「前後車輪取付位置対応表」に従って、車軸を適切な車軸穴に差し込み、ナットを締めます。



前後車輪取付位置対応表

		後車輪	キャスター車輪
14インチ仕様車	450	低	低
	475	中	中
	500	高	高
16インチ仕様車	475	低	低
	500	中	中



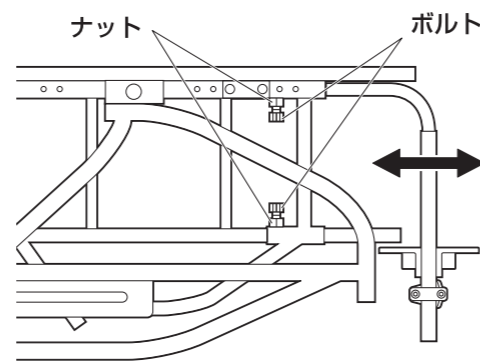
* キャスター車輪は、左右同じ位置に調節してください。

フットレストの前後位置調節

使用者の足の長さに合わせて、フットレストの前後位置を調節することができます。

- 1 駐車ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 図の上下のボルトとナットを、ナット→ボルトの順にゆるめます。
- 3 フットレストを前後に動かし、適切な位置に調節します。
- 4 調節を終えたら、ボルト→ナットの順に締めてフットレストを固定します。

* 調節後、フットレストがしっかり固定されていることを確認してください。
* 多機能型、標準型も同様に前後位置を調節することができます。



図は直下型フットレストです。

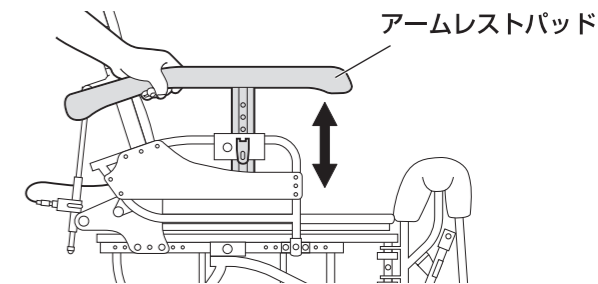
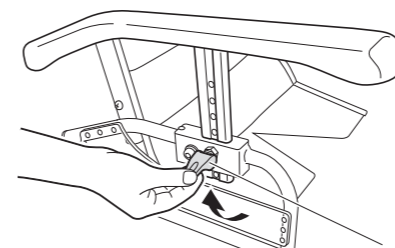
アームレストパッドの高さ調節

EX SP

アームレストパッドの高さを5段階に調節することができます。使用者の身長やお使いのクッションに合わせて高さを調節してください。

- △注意
- ・ 高さ調節をした後は、必ずロックされたことを確認してください。
 - ・ アームレストを持って車いすを持ち上げないでください。

- 1 駐車ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 アームレスト外側の黒いレバーを引き上げてロックを解除します。
- 3 アームレストパッドの高さを調節します。
* 高さは20mm間隔で5段階に調節できます。



- 4 調節を終えたら、レバーを下に倒してロックさせ、アームレストパッドを固定します。

* 調節後、アームレストパッドがしっかり固定されていることを確認してください。

- △注意
- レバーを解除しているときは、アームレストフレームとアームレストパッドの間に指をはさまないように注意してください。

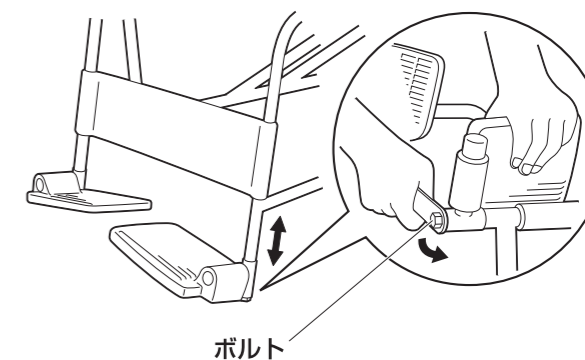
ステップの高さ調節 (多機能型 SP・標準型フットレスト)

EX

使用者に合わせて、ステップの高さを適切な位置に調節してください。

- 1 駐車ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 フットレストの裏側のボルトをスパナなどでゆるめます。
- 3 使用者の足に合わせ、ステップの角度を調節します。
- 4 調節を終えたら、ボルトを締め付けて固定します。

* ステップが回転せず、しっかり固定されていることを確認してください。

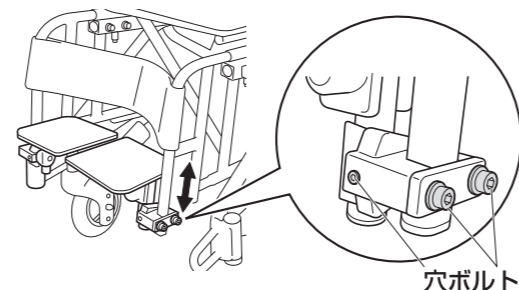


ステップの高さおよび角度調節 (直下型フットレスト) EX

使用者に合わせて、ステップを適切な高さおよび角度に調節してください。

△注意 ステップは、地上より50mm以上あげて使用してください。

- 1 駐車ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 ステップの裏側の穴ボルト(3個)をレンチでゆるめます。
- 3 脚の長さに合わせてステップの高さを調節し、足底部に合わせて角度を調節します。
- 4 調節を終えたら、ステップの裏側のネジを締め付けて固定します。

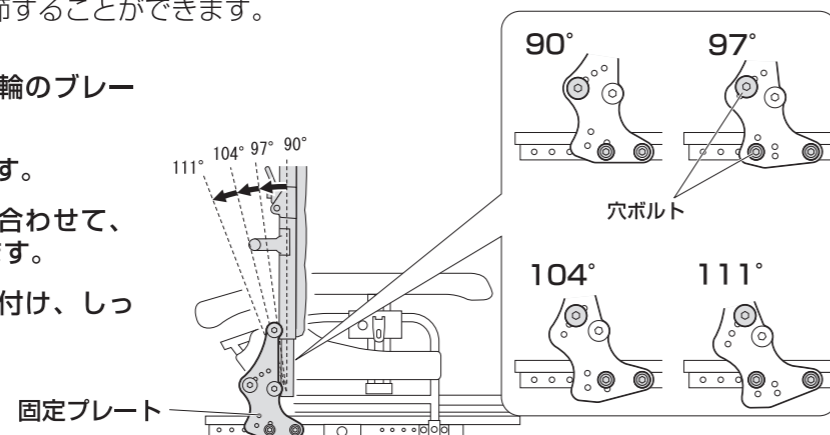


*調節した角度が変わらないよう、穴ボルトでしっかりと固定されていることを確認してください。

バックレスト (背もたれ) の角度変更 (固定プレート) EX

バックレスト固定プレートの取付け位置を変えることで、バックレスト (背もたれ) の角度を4段階 (90度、97度、104度、111度) に調節することができます。

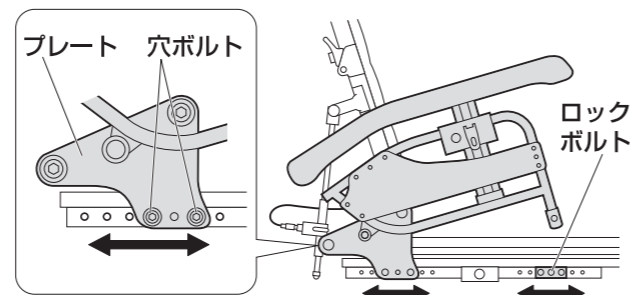
- 1 駐車ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 穴ボルト(2箇所)をレンチで外します。
- 3 変更したいバックレストの角度に合わせて、固定プレートの取付け位置を決めます。
- 4 位置を決めたら、穴ボルトを取り付け、しっかりと締め付けて固定します。



バックレスト (背もたれ) の前後位置調節

バックレストの前後位置を変えることで、座面の奥行きを変えることができます。

- 1 駐車ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 ウィングレバーのロックを解除します。(8ページ「アームレストを後方に跳ね上げる(ウィング機能)」参照)
- 3 プレートの穴ボルト(2個)をレンチで外し、プレートの前後位置を変えます。
- 4 ウィングレバーのロックボルトの取り付け位置も同様に变えます。
- 5 位置を決めたら、ボルトを取り付け、しっかりと締め付けて固定します。



*バックレストは、左右とも同じ前後位置に調節してください。

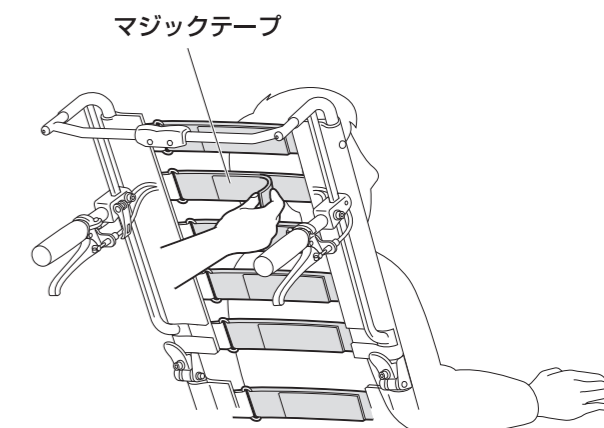
バックレスト (背もたれ) の張り具合調節 EX SP

バックレストにはテンション式背シートを装備しております。テンション式背シートの張り具合を適切に調節することにより、バックレストが使用者の体にフィットし、疲れにくく安定した姿勢を保つことができます。

- *調節は使用者を乗せた状態で行なってください。
- *アウターシートを外して調節を行なうと、効果を確認しやすくなります。

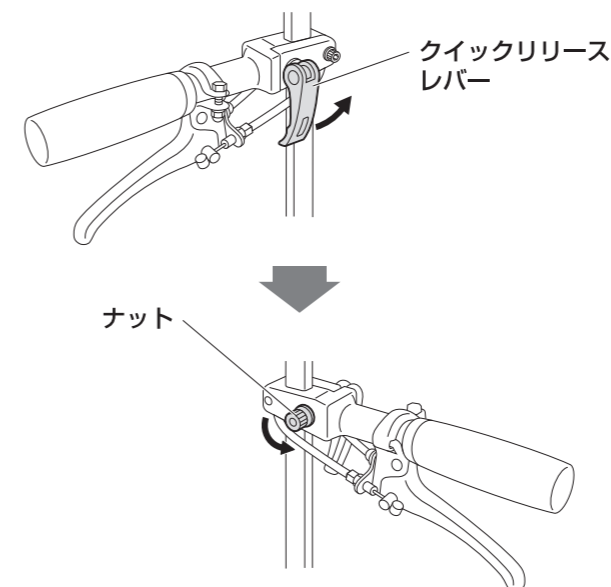
- 1 駐車ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 下から上の順に、ベルトのマジックテープを貼り直してベルトの張り具合を調節します。

- *アンカーサポート機能のついたクッションと合わせて使用すると、より姿勢保持の効果が得られやすくなります。
- *過度の調節 (ゆるめすぎ、締めすぎ) はかえって姿勢を崩すこととなりますので、十分注意して行なってください。

押し手グリップの高さ調節 EX SP

介助者に合わせて、押し手グリップの高さを調整することができます。

- 1 駐車ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 クイックリリースレバーを引き起こしてロックを解除し、レバーの反対側のナットをゆるめます。
- 3 押し手グリップの高さを調節します。



- 4 調節を終えたら、ナットを締め、クイックリリースレバーを倒してロックさせます。
- 5 反対側の押し手グリップも、同じ高さに調節します。

- *調節した後は、必ず押し手グリップがぐらつかないことを確認してください。
- *クイックリリースレバーの締め付け具合がゆるい場合は、ナットを締め直してからレバーを締めてください。